

# ハンドボール



日本ハンドボール協会公式記録用紙

## No. 60

## No. B4

(16名用)

スローオフチーム

A	岐阜県	京都府	B
合計	17	28	合計

大会名	第67回国民体育大会 秋清流国体		
平成24年10月6日(土)	場所	飛騨・世界生活文化センター	
種別	少年	男・国	回戦 第2回戦 準決 決 リーグ

A 近藤 哲也 7m TC 楠本 伸子 B

A	岐阜県	警告	退場	失格	チームタイムアウト			
					前半	後半	合計	
役員A	近藤 哲也				15	20	6	10
役員B	赤坂 徹					19	47	
役員C	坂 裕邦				得点			
役員D	谷口 紗穂子				前半	後半	合計	
1	後藤 秋穂							
2	中島 沙里奈			T	F		5	
3	古橋 広葉	/	/	T			2	
4	奥坂 妃水	/	/	-			1	
5	栗田 佑真	/	/	-	F		5	
6	佐藤 尚	/	/	-			2	
7	平野 麻綾	/	/	-	T		2	
8	下谷 新	/	/	/				
9	花村 成美	/	/	/				
10	渡邊 美奈	/	/	/				
11	藤田 咲妃	/	/	/				
12	今井 雪乃	/	/	/				
合計					7	10	17	
B	京都府	警告	退場	失格	チームタイムアウト			
					前半	後半	合計	
役員A	楠本 伸子				28	44		
役員B	西山 周良				得点			
役員C	上村 崇男				前半	後半	合計	
役員D	木田 愛生							
1	岩見 住音							
2	杜氏 千枝				T		2	
3	北川 美優				T	T	4	
4	片山 愛梨				T		2	
5	古賀 美穂	/	/	F	F		8	
6	嘉村 智美	/	/	-			1	
7	秋山 谷川	/	/	F	T		6	
8	林 真由希	/	/	/				
9	正木 優唯	/	/	-	T		3	
10	伊藤 真弓	/	/	-	T		2	
11	前平 真由	/	/	/				
12	加藤 文由	/	/	/				
合計					11	17	28	

タイムキーパー 佐藤 睦 スコアラー 前田 有香

マッチメイカー 石川 直樹 審判員 市川 聖 審判員 江崎 幸山

前半				後半			
背番	結果	得点	時間	背番	結果	得点	時間
2		1	00:19				
			1:45	7			
2	2	3	26				
6	3	4	01				
			4:02	W	5		
5	W	4	27				
			4:44	2	0	5	
			5:30	3	3		
			6:03	S	5		
			7:13	4	7		
3	4	7	24				
6	S	8	14				
			9:22	5	7		
			10:43	6	3		
			12:00	7	5		
			14:34	8	7		
			15:15	9	5		
			15:20				
5	5	16	26				
			16:57	S	6		
			21:37	S	5		
			23:15	10	5		
4	6	24	49				
			26:09	11	9		
7	W	26	15				
3	7	26	47				
			28:44				
7-11				17-28			

特記事項

## ハンドボール

ぎふ清流国体ハンドボール競技

## 結果報告

No.59

大会名	第67回 国民体育大会 ハンドボール競技				
競技日	10月6日(土)	試合記号	Bサ	回戦	2回戦
種別	少年女子	会場	飛騨・世界生活文化センター		
A(都道府県名)			B(都道府県名)		
岐阜県			京都府		
得点合計	小計		小計	得点合計	
17	7	前半	11	28	
	10	後半	17		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
	7mTC				

## 【 戦 評 】

記載者氏名 池淵 智一

1回戦で埼玉県との激戦を勝ち抜いた地元岐阜県と京都府との準々決勝。多くの観衆がつめかけ、地元の大声援の中、岐阜県のスローオフで試合が始まった。岐阜県が2番中島のロングシュートで先制すると、京都府も7番秋山の得点によりすぐに追いついた。その後は、両チームとも緊張からかパスミスが目立った。しかし、すぐに集中し直し、両チームとも得点を重ね、互角の戦いとなった。10分を経過し、京都府が5点連取し、4対9となったところで岐阜県はチームタイムアウトを申請した。その再開後、岐阜県5番柴田のシュートで得点をし、追い上げ態勢に入る。しかし、その得点后、両チームともシュートを決めきれず、約5分ほど得点が入らなかった。膠着状態を破ったのは、京都府10番伊藤のシュートだった。互いに加点し、7対11で京都府がリードして、前半を折り返した。

岐阜県は追い上げたいところだが、後半5点連取したのは、京都府だった。後半6分10秒に、岐阜県がチームタイムアウトを申請して、何とか流れを止めようとする。しかし、その後も京都府の勢いは止まらず、結局チームタイムアウトを挟んで、8点連取となった。最後まであきらめず、勝利を目指し戦った岐阜県だったが、17対28で地元の国体を5位で終えた。